

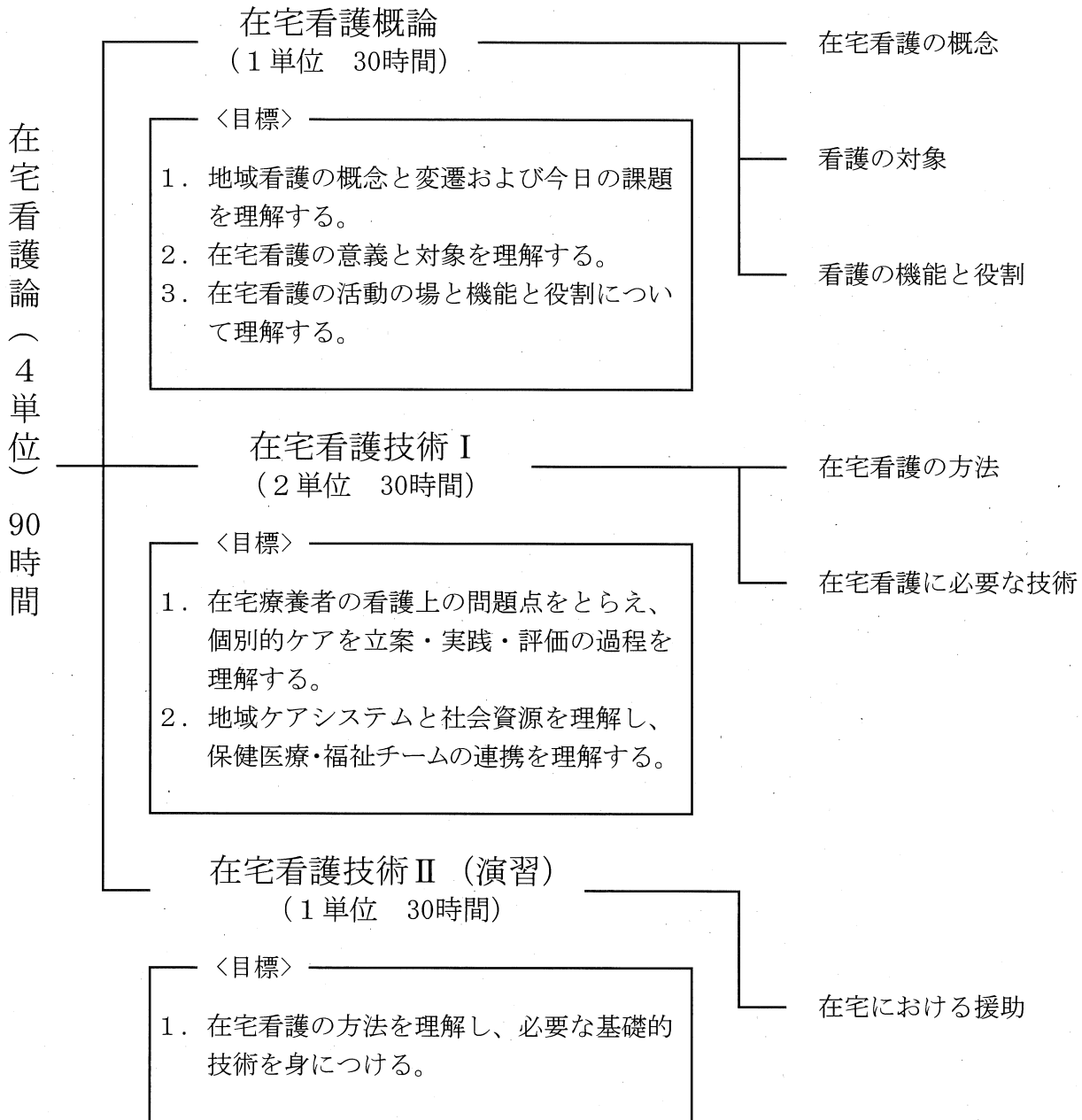
## Ⅱ.講義の概要

# 5.統合分野

- 1) 在宅看護概論
- 2) 在宅看護技術Ⅰ
- 3) 在宅看護技術Ⅱ
- 4) 看護管理
- 5) 医療安全
- 6) 看護研究
- 7) 臨床看護の実践Ⅰ
- 8) 臨床看護の実践Ⅱ

# 在宅看護論

目的：疾病や障害をもちながら地域で生活する人とその家族を理解し、在宅療養者の看護の基礎を身に付ける。



# 講義概要

科目名	在宅看護概論	時間	30時間
		単位	1単位
担当講師	齊藤 綾（看護師実務経験19年）		
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域看護の概念と変遷および今日の課題を理解する</li> <li>2. 在宅看護の意義と対象を理解する</li> <li>3. 在宅看護の活動の場と機能と役割について理解する</li> </ol>			
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護の対象者</li> <li>・在宅療養の支援</li> <li>・在宅看護にかかわる法令・制度とその活用</li> <li>・在宅看護過程展開のポイント</li> <li>・在宅看護における権利保障</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院          新体系 看護学全書 在宅看護論 メヂカルフレンド社</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 在宅看護概論30時間のうち1時間を試験にあてる</p>			
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>			

# 講 義 概 要

科目名	在宅看護技術 I	時間	30時間
		単位	2単位
担当講師	高川 千春(看護師実務経験18年)		
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅療養者の看護上の問題をとらえ、看護過程の展開方法を理解する</li> <li>2. 地域ケアシステムと社会資源を理解し、保健・医療・福祉チームの連携を理解する</li> </ol>			
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの基本</li> <li>・在宅におけるコミュニケーション</li> <li>・ラポールを形成するための看護者の態度</li> <li>・訪問看護におけるコミュニケーションの実際(事例に沿ってグループワーク)</li> <li>・在宅看護における観察技術</li> <li>・訪問看護の実際</li> <li>・在宅看護過程(事例に沿ってグループワーク)</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院          新体系 看護学全書 在宅看護論 メヂカルフレンド社          根拠がわかる在宅看護技術 メヂカルフレンド社</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 在宅看護技術 I 30時間のうち1時間を試験にあてる</p>			
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>			

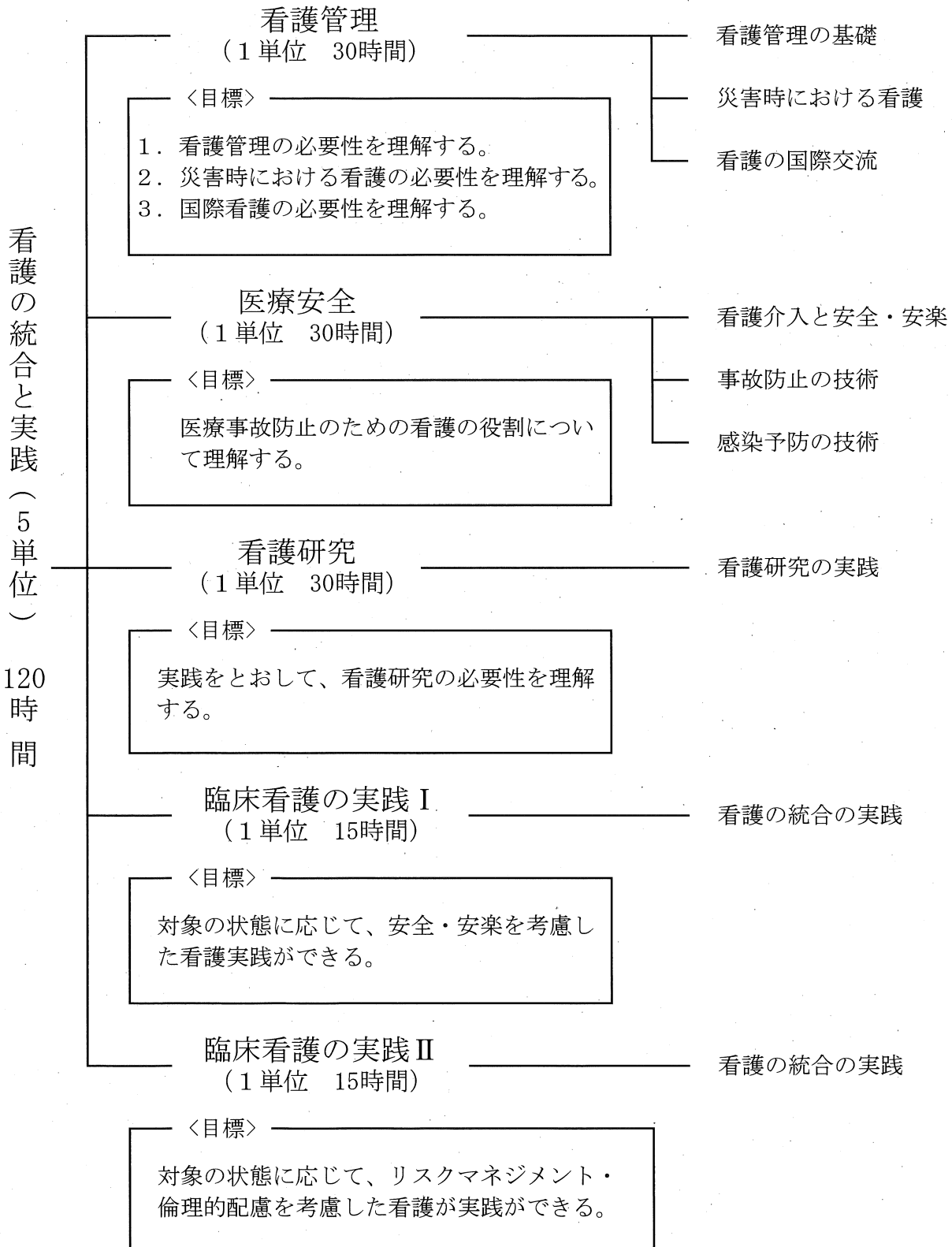
## 講 義 概 要

科目名	在宅看護技術Ⅱ	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	芳賀 真佐子(看護師実務経験22年)		
在宅看護の方法を理解し、必要な基礎的技術を身につける			
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護技術の特徴</li> <li>・在宅における日常生活の援助(食事・排泄・清潔・睡眠・移動)</li> <li>・在宅における処置を伴う援助 (経腸栄養法・在宅中心静脈栄養法・尿道留置カテーテル・自己導尿・在宅酸素療法・ 気管カニューレ・吸引・自己注射法・感染予防)</li> <li>・終末期ケア</li> <li>・在宅における援助技術</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>・系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院          新体系 看護学全書 在宅看護論 メヂカルフレンド社          根拠がわかる在宅看護技術 メヂカルフレンド社</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 在宅看護技術Ⅱ30時間のうち1時間を試験にあてる</p>			
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>			

# 統合分野

## 看護の統合と実践

- 目的： 1. チームにおける看護師の役割を理解し、看護管理・医療安全についての基礎的能力を養う。  
2. 国際看護学の概念を理解し、国際看護の必要性を理解する。  
3. 各分野で学習した知識と技術を統合し、対象に安全で適切な看護を実践できる基礎的能力を養う。  
4. 実践を通して看護研究の基礎を学ぶ。



# 講義概要

科目名	看護管理	時間	30時間
		単位	1単位
担当講師	①高川 千春（看護実務経験18年） ②藤原 智恵美（看護部長） ③松田 栄子（看護師） 三上 育子（救急看護認定看護師） ⑤泉谷 勇（救急看護認定看護師）		
<p>&lt;授業のねらい&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の機能を効果的に発揮するために必要な看護管理のあり方を理解する</li> <li>2. 災害サイクルにおける看護の基礎知識について理解する</li> <li>3. 国際看護学の概念を理解し、国際看護の必要性を理解する</li> </ol>			
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <p>14時間</p> <p>①担当：高川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護管理とは何か</li> <li>・看護管理と看護倫理</li> <li>・看護の質管理</li> <li>・看護管理の基礎</li> <li>・チーム医療</li> <li>・国際看護とグローバリゼーション</li> <li>・国際看護とは何か</li> <li>・講義の振り返り</li> </ul> <p>4時間</p> <p>②担当：藤原（看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護サービスの管理</li> <li>・看護管理システム</li> </ul> <p>1時間</p> <p>③担当：松田（看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全と医療の質保障</li> </ul> <p>2時間</p> <p>④担当：三上（救急看護認定看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害とこころのケア</li> </ul> <p>8時間</p> <p>⑤担当：泉谷（救急看護認定看護師）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害医療の基礎知識</li> <li>・災害看護の役割</li> <li>・災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 医学書院</p> <p>系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学 医学書院</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験 看護管理の全範囲について①担当が試験問題を作成する 30時間のうち1時間を試験に充てる</p> <p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p>			

# 講義概要

科目名	医療安全	時間	30時間
		単位	1単位
担当講師	①高瀬 啓一（看護師実務経験9年） ②臨床工学士		
<p>&lt;授業のねらい&gt; 医療事故防止のための看護の役割について理解する</p>			
<p>&lt;講義内容&gt; 27時間 ①担当：高瀬</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全を学ぶ意義</li> <li>・医療事故と看護業務</li> <li>・看護事故の考え方</li> <li>・看護事故防止の考え方</li> <li>・療養上の世話の事故防止</li> <li>・診療の補助業務に伴う事故防止 I 患者に投与する業務における事故防止</li> <li>・診療の補助業務に伴う事故防止 II 継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止</li> <li>・業務領域をこえて共通する間違いと発生要因</li> <li>・医療安全とコミュニケーション</li> <li>・我が国の医療安全対策の展望</li> <li>・採血演習</li> </ul> <p>2時間 ②担当：臨床工学士</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・注射業務に用いる器具での事故防止</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考書&gt;            系統看護学講座 統合 医療安全 医学書院            医療安全ワークブック 医学書院</p>			
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験 医療安全の全範囲について①担当が作成 30時間のうち1時間を試験に充てる</p>			
<p>&lt;配点&gt; 100点</p>			



# 講義概要

科目名	看護研究	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	山口 梨沙（看護師実務経験9年）		
<p>&lt;授業のねらい&gt; 実践を通して、看護研究の基礎を理解する</p>			
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護研究を行うにあたって</li> <li>・研究論文とは</li> <li>・倫理的配慮について</li> <li>・抄録とは</li> <li>・研究のプロセスについて</li> <li>・研究論文の構成について</li> <li>・抄録作成と看護研究発表について</li> <li>・看護研究発表</li> <li>・看護研究の講評</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 黒田 裕子 看護研究 STEP BY STEP 医学書院</p>			
<p>&lt;評価方法&gt; 看護研究の取り組みのプロセス及び発表における評価を担当教員が行い、看護研究評価表に基づいて評価する</p> <p>&lt;配点&gt; 100点</p>			

## 講 義 概 要

科目名	臨床看護の実践 I	時間	15時間
		単位	1単位
担当講師	吉谷 理絵(看護師実務経験20年)		
対象の状態に応じて、安全・安楽を考慮した看護実践ができる			
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護技術とは</li> <li>・学内と臨床における学習環境の違い</li> <li>・インシデントを防止するための留意点</li> <li>・対象によって起こりうる問題が何か、事例を通して考える</li> <li>・状態に合わせて看護するうえでの留意点</li> <li>・試験のふり返り</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考書&gt;</p> <p>新体系 看護学全書 基礎看護技術 I    メジカルフレンド社</p> <p>系統看護学講座 専門 I 基礎看護技術 I</p> <p>医療安全ワークブック 医学書院</p>			
<p>&lt;評価方法&gt;</p> <p>筆記試験と実技試験にて評価をする</p> <p>臨床看護の実践 I 15時間のうち1時間を筆記試験と実技試験に充てる</p>			
<p>&lt;配点&gt;</p> <p>100点</p> <p>内訳：実技試験75点    筆記試験25点</p>			

## 講 義 概 要

科目名	臨床看護の実践Ⅱ	時間 単位	15時間 1単位
担当講師	佐藤 久美（看護師実務経験12年）		
<p>&lt;授業のねらい&gt; 対象の状態に応じて、リスクマネジメント・倫理的配慮を考慮した看護が実践できる</p>			
<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的配慮の必要性と看護援助の優先順位の考え方</li> <li>・事例学習（患者個人の看護計画立案）</li> <li>・事例学習（2事例を受け持つスケジュール）</li> <li>・事例学習（時間切迫・多重課題での優先順位に配慮した行動計画）</li> <li>・時間切迫・多重課題の演習</li> </ul>			
<p>&lt;教科書・参考書&gt; 講師の持参した資料を用いる</p>			
<p>&lt;評価方法&gt; 筆記試験と実技試験にて評価をする 臨床看護の実践Ⅱ 15時間のうち1時間を筆記試験と実技試験に充てる</p> <p>&lt;配点&gt; 100点 内訳：筆記試験50点      実技試験50点</p>			